

---

# ロールシャッハテスト

並盛りライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ロールシャッハテスト

### 【ISBN】

N4562C

### 【作者名】

並盛りライス

### 【あらすじ】

美しいだけではない。葛藤といつものモノローグ

少なくともこの星は僕らのように非生産的な人間でも受け入れて、吐き気がする位にあからさまな偽善行為にだって嫌気がさしている。

美しい国なんて、汚いことから目を逸らすやり方しかできない、矛盾と破綻の中で自分だけは小奇麗な生き方をしたい人達の作った理想郷。

時間だけがただ無常に過ぎていぐだけで何をそんなに不安に思うんだい？

時間が有限だって？何でもかんでもやれば良いって訳でもないだろ？

ただ此処に居て、悩んで答えは見つからない（それってそんなに悪いことだらうか？）

そして時間が流れれる。

夕凪に投影される影法師。人はすぐには変われない。

ヒーローは居ない。世界は当たり前でできていて、その枠の中でしか生きれやしない。

一歩ずつしか人は進めない。瞬間移動の方法なんて知らない。それが嫌になつたんだ。それに見切りをつけたんだ。

正しいことは解るのに、それで良いと思えないのはなぜか？

誰か教えて欲しい。

僕はずつとここで停滞している。

前に進んでも壁しかみえないじゃないか。戻る道は、消されていく。

生きているのが酷く困難に思える。

眠りはすぐ自然な状態に僕を近づける。死に最も近い安らぎ。一步を踏み出しても壁が近づくだけで、景色は見えない。近道に見えるそれは、さらに深い地下への入り口なんだ。

正しいことばかり、僕は知っている。自分が一番正しくないこと  
も知っている。

だからって、どうすればいいのだろう。

ここは温かくて、君が思つているよりもずっと居心地は良い。  
でもそれは、幻想だって気づいている。目が醒めたらここがどん  
なところなんかを嫌でも思い出している。

僕はここで、時間も空間も動かせないままに停滞している。  
いつか魔法が解けたら、呪いと言い換えてもいい。  
地面は刹那に崩れ去り、一度と這いあがれない闇へと墜ちる。  
けれども僕は、前にも後ろにも進むことができずに、とどまり続  
ける。

誰もが、ここが危険だつて知つている。（もちろん僕も）  
僕は停滞している。

諦めたわけじゃないけれど、無意味だつて知つている。  
危険なのはこの場所だけじゃない。それも知つている。  
無責任な誰かの声だけが偽りの希望を吐き出して、狼少年みたい  
に信用を失っていく。

また、誰かが僕を惑わせる。天使のような声で、ハリボテの救済  
と幸福を保証する。

傍から見れば、停滞する僕の姿は滑稽で惨めで愚かに見えるだろ  
う。

僕は悲観的なわけじゃない、ただ情報ばかりが頭では溢れている。  
絶望しているんじゃない、ただここで身動きの取れない自分の姿  
を見ているだけだ。

停滞している。影法師が永久運動を繰り返し、変化する明日を見  
届ける。

通り過ぎていく過去も、到達しつつある未来も見えない。

僕は途方に暮れている。そして、僕は停滞している。（それは絶  
望ではない）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4562c/>

---

ロールシャッハテスト

2010年10月21日21時22分発行